

第3章 関連する諸計画の整理

3.1 第4次宝塚市総合計画

／目標年次／

平成22年度（2010年度）

／将来人口／

平成22年の人口を23万人と想定する。

なお、平成22年における65歳以上の高齢者の割合は市民の約20%を占めると考えられる。

／基本構想／

平成13年度からスタートした本計画においては、住み続けたい、訪れてみたい、「真に美しい都市」を目指すこととしている。

人と自然がふれあう、心豊かな美しいまち宝塚

／6つのまちづくりの基本目標と重点プロジェクト／

本市の将来都市像の実現に向けて、6つのまちづくりの基本目標を定め、その基本目標ごとに、重点プロジェクトを以下のように位置付けている。

まちづくりの基本目標	重点プロジェクト名
安全で快適なまちづくり	シンシアのまちプロジェクト バス交通ネットワークプロジェクト
健康で安心して暮らせるまちづくり	元気でいきいきシニアプロジェクト ウエルネスプロジェクト
人にあたたかく、豊かな心をはぐくむまちづくり	いきいきTAKARAっ子プロジェクト
いきいきと活力あるまちづくり	宝塚にぎわい再生プロジェクト
花や緑があふれ、自然と共生する庭園のまちづくり	環境創造・循環型社会づくりプロジェクト
ふれあいと協働のまちづくり	活気あふれる地域づくりプロジェクト

以上の重点プロジェクトにおいて本業務に特に関連するものを次に整理する。

シンシアのまちプロジェクト

高齢者や障害のある人も積極的に社会参加できるよう、道路、公共施設、公共交通機関などのバリアフリー化を進め、すべての人にとって、安全かつ円滑に移動できる快適な歩行空間の整備などを進める。

バス交通ネットワークプロジェクト

市民生活の利便性や交流機能を強化するため、バス路線の再整備や運行方法の改善により、ＪＲ福知山線・阪急宝塚線及び今津線の主要駅と、公共施設や山手住宅地を結ぶバスネットワークを形成し、効率よく快適に移動できるようにするとともに、交通渋滞の緩和にも取り組む。

宝塚にぎわい再生プロジェクト

交流をはじめとする、にぎわいの演出と個性的な文化の発信を目指し、本市のシンボルゾーンであるＪＲ及び阪急宝塚駅から阪急宝塚南口駅周辺地区において、ＴＭＯ（まちづくり推進機構）などの取組みにより、商業の活性化や観光プロムナードの回遊性を高めるなど、だれもが主役になり、市民には夢を、来訪者にはあこがれを抱かせる宝塚らしい市街地を創造し 21 世紀の宝塚の魅力を高める。

／ 地域別計画 /

本業務に特に関連する市街地における計画等について以下に特記する。

第2ブロック

当地域は、大きくは武庫川沿いの平坦部地域と、阪急今津線以西の山麓部地域から構成され、扇状に広がる南部市街地の要に位置する。

課題

山麓部の住宅地で高齢化が進行しており、坂道の歩行や外出など日常生活に支障が出ている。

地域づくりの主な施策

安全で快適な歩行空間を確保するため、道路のバリアフリー化や狭あいな道路の整備を進めるとともに、超低床ノンステップバスの導入を促進することにより、高齢者や障害者などの移動手段を確保する。

第3ブロック

当地域は、大きくは武庫川から阪急宝塚線に至る平坦部地域と、阪急宝塚線以北の山麓部地域から構成され、扇状に広がる南部市街地の要に位置する。

課題

高齢化の進展に伴い、山麓住宅地に居住する高齢者の日常生活に支障が出てきており、バス路線を開設する必要がある。

ＪＲ宝塚駅には、エレベーターなどが設置されておらず、高齢者や障害者などの鉄道利用に支障があり、橋上駅舎の建設とともにバリアフリー化が求められている。

地域づくりの主な施策

高齢者や障害者の移動手段を確保するため、ＪＲ宝塚駅のエレベーターなどのバリアフリー化を進めるよう鉄道事業者働きかけるなど取組みを進める。

3.2 たからづか都市計画マスタープラン（平成9年3月）

宝塚市の都市計画マスタープランは現在改訂中である。

／都市計画のコンセプト／

本市の都市計画に関する基本的な方針を作成するために行った住民アンケート調査を基本とし、将来都市像を実現する都市計画のコンセプトを以下のように設定している。

庭園都市 - 水と緑の都市空間をつくるために

居住文化創造都市 - ふれあいのある優れた居住環境をつくるために

芸術リゾート都市 - 宝塚独自の観光・都市文化をつくるために

以上の都市計画のコンセプトにおいて本業務に特に関連するものを以下に特記する。

居住文化創造都市 - 人にやさしいまちづくり

高齢者や障害者を含むすべての住民の自由な移動や快適な滞在空間を確保する等、ノーマライゼーションの視点にたった都市のバリアフリー化を促進する。すなわち、すべての人々が安心して快適に生活できる道路、交通輸送施設の整備、住宅の供給、公益的施設づくりを促進する。

居住文化創造都市 - 日常交通の基盤づくり

高齢者や障害者に配慮した公共交通機関の機能充実を図る。

／めざすべき都市構造／

本業務に特に関連する南部地域において、めざすべき都市構造を次に示す。

都市拠点

宝塚駅から宝塚南口駅を結ぶエリアを主核として位置づけ、広域を対象とした観光、レクリエーション、芸術、文化などの都市リゾート機能の集積を図る。

市街地が阪急今津線沿線と阪急宝塚線及びJR福知山線の沿線とに展開し、各鉄道駅はそれぞれの生活圏の中心的役割をもっていることから、各駅前地区において立地条件や駅勢圏の特性にあった都市機能の集約を行い、特色ある拠点としての発展をめざす。

交通ネットワーク

本市のそれぞれの地域から、鉄道駅や生活中心機能をもつ各都市への交通手段を確保し、また地域間相互の連絡を強めるためバス交通の充実を図るとともに、バス輸送の拡充と連携した幹線道路や駅前広場の整備を推進する。

南部地域内においては、広域圏での都市間連携道路である国道176号及び尼崎宝塚線と、市域内及び隣接都市との連絡に供する地域内幹線道路とを分離することで、安全で快適な交通の流れをつくるとともに、各都市拠点へ便利に連絡できるよう、環状ネットワークを基本とする道路体系の形成を図る。

幹線道路整備に関連して、その周辺地域の生活道路については、居住環境等の向上のための機能を持たせるようにその整備について検討する。

3.3 福祉のまちづくり重点地区整備計画（平成8年3月）

/ 重点地区 /

小浜・安倉地区

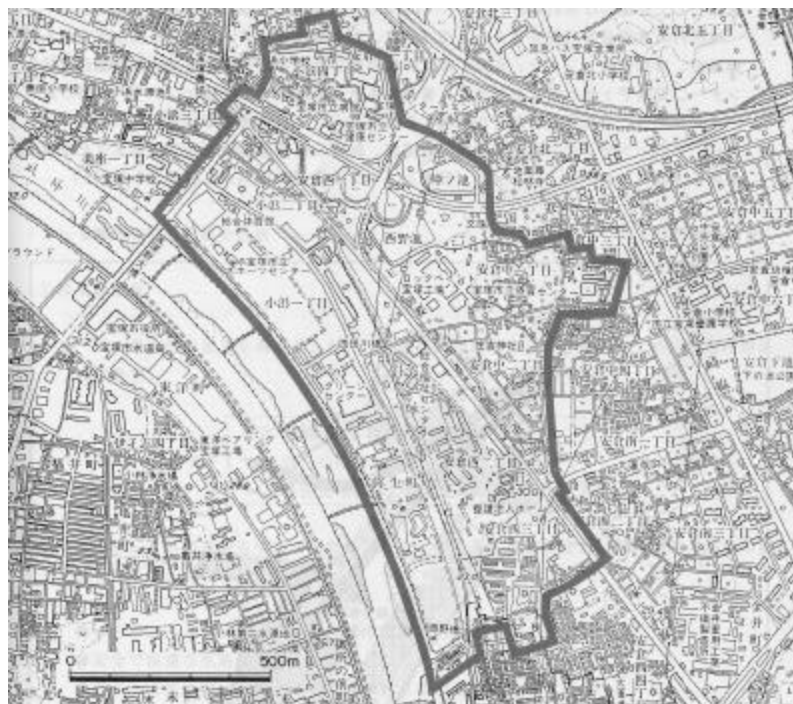


図 - 1 重点地区（小浜・安倉地区）位置図

/ 基本方針 /

本市では、「福祉のまちづくり」における生活環境面の整備を進める上での基本方針を以下のように設定する。

移動を保障すること

安全を保障すること

快適性を確保すること

わかりやすくすること

/ 整備の基本的考え方 /

公益的施設

建築物

- ・まず「施設内の目的の場所へ到達できること」を基本に考えて、実現化していく。
- ・整備項目の設定にあたっては、建築物の利用形態を勘案し、整備上配慮することが望ましいものについては広範に取入れ、高齢者や障害者等の利用者の連続的な移動を確保し、さらに進んで安全で快適に利用しやすい建築物を目指す。
- ・整備においては、建物の大規模な改変を伴わない手法を優先する。

バス停留所

- ・まず「到達できること」を基本に考えて、実現化していく。
- ・整備においては、建物の大規模な改変を伴わない手法を優先する。

公共施設

道路

- ・高齢者や障害者等を含むすべての市民の歩行や車いすによる移動を基本的な交通手段として位置付け、安全性・快適性が確保できるよう道路、歩道の整備に努める。
- ・高齢者や障害者等が利用する上で、幹線となる道路を中心に歩行者の通行動線を連続的かつ安全に確保し、ネットワークを構築する方向で整備を進める。
- ・高齢者や障害者、特に車いす使用者や視覚障害者の事故の危険性に留意し、その安全性を確保する。
- ・歩行者等の空間を常に使いやすいものにするために、利用者や沿道施設管理者等の理解と協力を保ち、適正な維持管理に努めていく。

公園

- ・通常及び災害時の利用において、公園の機能が最大限に発揮できるよう、出入口の段差等の障壁はすべて解消する方向で整備を進める。
- ・視覚障害者や聴覚障害者などの情報の認知に障害を有する者については、報知手段の工夫により、情報を伝達しうるよう出来る限り配慮を行う。

/ 整備の優先順位の検討 /

整備の優先順位検討の視点

安全性の確保はすべて優先する。

高齢者や障害者等の利用頻度の高いものを優先する。

整備対象別には、建築物等の施設については、「到達できること」を優先し、次いで内部の移動性の確保、利便性の確保の順となり、道路では移動の連続性の確保が優先し、次いで歩行空間の快適性の確保となる。

3.4 宝塚市都市計画道路整備プログラム（平成11年6月）

本市では、総合計画や都市計画マスタープランに基づき、道路整備の課題を踏まえ、道路整備事業に係る一層の効率的な執行及び透明性の確保を図る観点から、各路線が評価できる指標を整理するなどし、宝塚市都市計画道路整備プログラムを策定している。

ここで、本構想に関わる宝塚駅及び逆瀬川駅周辺における都市計画道路整備の動向としては、現時点で概ね整備が完了している宝塚駅歌劇場前線、宝塚仁川線のほか、事業継続中である荒地西山線（小林工区）及び後期5カ年（平成15年～平成19年度着手予定）に該当する伊子志旭町線、荒地西山線（千種工区）がある。

以下に、宝塚駅及び逆瀬川駅周辺に関わる今後の都市計画道路整備の動向を整理する。

表 - 1 宝塚駅及び逆瀬川駅周辺の整備動向（都市計画道路整備プログラムの抜粋）

整備区分	路線名	着手予定時期
継続区間	宝塚駅歌劇場前線	整備済み
	宝塚仁川線	〃
	荒地西山線（小林工区）	事業継続中
前期5カ年	-	-
後期5カ年	伊子志旭町線	平成15年～平成19年度
	荒地西山線（千種工区）	〃
H20以降着手予定路線	逆瀬川南口線	平成20年以降着手
	武庫川通線	〃
	野上通線	〃
	山手幹線	〃

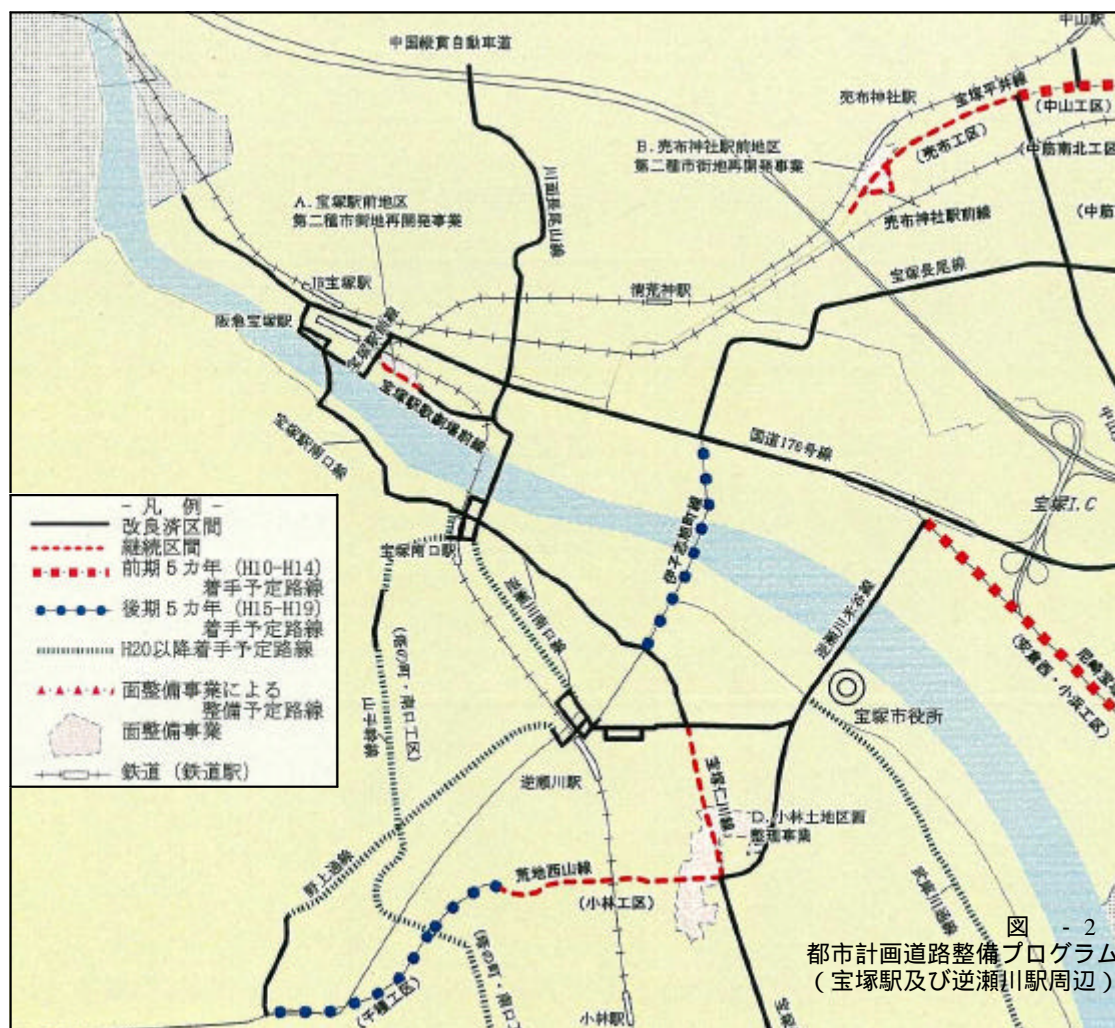


図 - 2 都市計画道路整備プログラム（宝塚駅及び逆瀬川駅周辺）